

東京ダービー

優勝賞金4,200万円
(ヴィクトワールピザ賞)

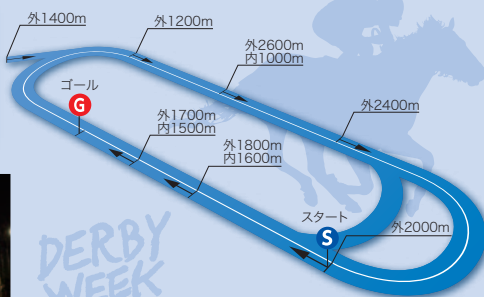
The Derby Week
2016



6/8(水)
大井競馬場
2,000m

多頭数での激戦が続く一戦。地方競馬所属馬のみのレースでは、日本でもっとも高い賞金額を誇っているだけに、各陣営の気合は相当。そして波乱も多くなっている。

- 右回りコース
- 1周1600m
- 幅25m
- ダービー出走可能頭数16頭



単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	○	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○



ダービーにジョッキー聞く ダービーの思い出

2015 東京ダービー
【ラッキープリンス】 **今野 忠成** 騎手

僕が乗ったのは羽田盃からですが、ダービーでもこの馬の先行力をうまくいかせれば結果がついてくるかなと思って乗りました。ゴール前では後ろから何か来たな、とは思いましたが、的場さんとは分

注目の競走馬

タービランス

父	パイロ
母	チャームエンジェル
母父	Theatrical
馬主	泉 俊二
調教師	水野 貴史
生産者	大川牧場



門別競馬場ではデビューから4連勝したが、北海道2歳優駿では大差負け。しかし浦和移籍後は初戦が2着も、京浜盃と羽田盃を連勝。その勢いと実力には引き続き注目だ。

ガーニーフラップ

父	タイキシヤトル
母	ハンナリト
母父	ネオユニヴァース
馬主	上村 洋司
調教師	稲益 貴弘
生産者	川越ファーム



昨秋に船橋でデビューして、冬場に少し低迷するも、2月から3連勝でクラウンカップを制覇。東京湾カップは2着だったが、的場文男騎手が本番も騎乗するのか、興味が集まる。

トロヴァオ

父	カネヒキリ
母	サワズソング
母父	Cox's Ridge
馬主	(有)キャロットファーム
調教師	荒山 勝徳
生産者	ノーザンファーム



門別で3戦3連対の成績から大井に移り、ハイセイコー記念を勝利。全日本2歳優駿では4着に入り、年明け初戦となった羽田盃では僅差2着。そこからの上積みは大きそうだ。

かりませんでしたね。ダービーは騎手ならだれでも勝ちたいと思うのですが、僕はひとつひとつのレースを大切にしたいタイプ。それでもダービーを勝ったことは自信につながりましたし、祝勝会に招待されたのもうれしかったですね。祝勝会には的場さんもいらしたんですが、僕よりの場さんのほうが挨拶でたくさんしゃべって、なんだかの場さんが主役みたいでした(笑)

プレイバック&データ

第61回 東京ダービー (2015)

大井/2000m/16頭/2015.6.3/曇稍重

枠番	7	馬番	13	馬名	ラッキープリンス				
所属	浦和	性齢	牡3	負担重量	56				
騎手	今野忠	調教師	小久智	タイム	2.07.5	人気	⑨		

枠番	8	馬番	16	馬名	パーティメーカ				
所属	浦和	性齢	牡3	負担重量	56				
騎手	的場文	調教師	小久智	着差	¾	人気	⑥		

枠番	7	馬番	14	馬名	ヴェスヴィオ				
所属	大井	性齢	牡3	負担重量	56				
騎手	吉原寛	調教師	鈴木啓	着差	½	人気	⑩		

枠番	2	馬番	4	馬名	ララベル				
所属	大井	性齢	牝3	負担重量	54				
騎手	真島大	調教師	荒山勝	着差	1	人気	③		

枠番	6	馬番	11	馬名	ウインパロラス				
所属	川崎	性齢	牡3	負担重量	56				
騎手	柴田大	調教師	河津裕	着差	1¼	人気	⑫		



第61回(2015)ラッキープリンス

羽田盃2着のオウマタイムが1番人気で、羽田盃を制したストゥディウムが1番人気。羽田盃と同じくオウマタイムが先行し、ストゥディウムは後方から差を詰めたが、ハイペースの展開で有利になったのは好位から中団に位置した組。羽田盃3着のラッキープリンスが勝ち、羽田盃6着のパーティメーカが2着で、浦和・小久保智厩舎所属馬のワンツー。的場文男騎手は9回目の東京ダービー2着となった。

データ分析

※過去10年間のデータを分析

枠番別成績

枠番	成績	勝率	連対率	3着内率
1枠	0-0-2-17	0%	0%	10.5%
2枠	1-3-3-12	5.3%	21.1%	36.8%
3枠	0-0-1-19	0%	0%	5.0%
4枠	1-2-0-17	5.0%	15.0%	15.0%
5枠	4-2-0-13	21.1%	31.6%	31.6%
6枠	0-0-1-19	0%	0%	5.0%
7枠	3-2-1-14	15.0%	25.0%	30.0%
8枠	1-1-2-16	5.0%	10.0%	20.0%

過去10年の連対馬は、2、4、5、7、8枠からしか出ていないという偏りがあるのが大きな特徴。今年もこのデータが継続するのか、要注目といえるだろう。

前走3着馬が好相性!

年度	着順	馬名	前走のレース名	着順
06年	2着	トキノシャンハイ	羽田盃	3着
07年	2着	フリオソ	羽田盃	3着
08年	2着	モエレラッキー	東京湾カップ	3着
09年	2着	ブルーヒーロー	東京湾カップ	3着
11年	2着	ヴェガス	羽田盃	3着
12年	1着	プレティオラス	羽田盃	3着
	2着	プーラヴィーダ	兵庫チャンピオンシップ	3着
13年	1着	インサイドザパーク	羽田盃	3着
15年	1着	ラッキープリンス	羽田盃	3着

東京ダービーではどういうわけか、前走が重賞で3着だった馬が好成績。例外となっている10年と14年は、いずれも単勝1倍台で勝利した馬がいた年だった。

2走前までにゼッケン1番か2番をつけていた馬が好成績!

年度	着順	馬名	該当レース
06年	1着	ビービートルネード	前走 2番
07年	1着	アンパサンド	前走 1番
08年	2着	モエレラッキー	2走前 2番
09年	2着	ブルーヒーロー	前走 1番
10年	2着	ガナール	前走 1番
11年	2着	ヴェガス	前走 2番
12年	2着	プーラヴィーダ	2走前 2番
13年	2着	ジェネラルグラント	前走 1番
14年	2着	スマイルピース	2走前 1番
15年	2着	パーティメーカ	2走前 1番

東京ダービーでは、2走前までに1番か2番の馬番で出走していた馬が1頭だけ連対。昨年も6番人気2着のパーティメーカがこのデータに該当していた。